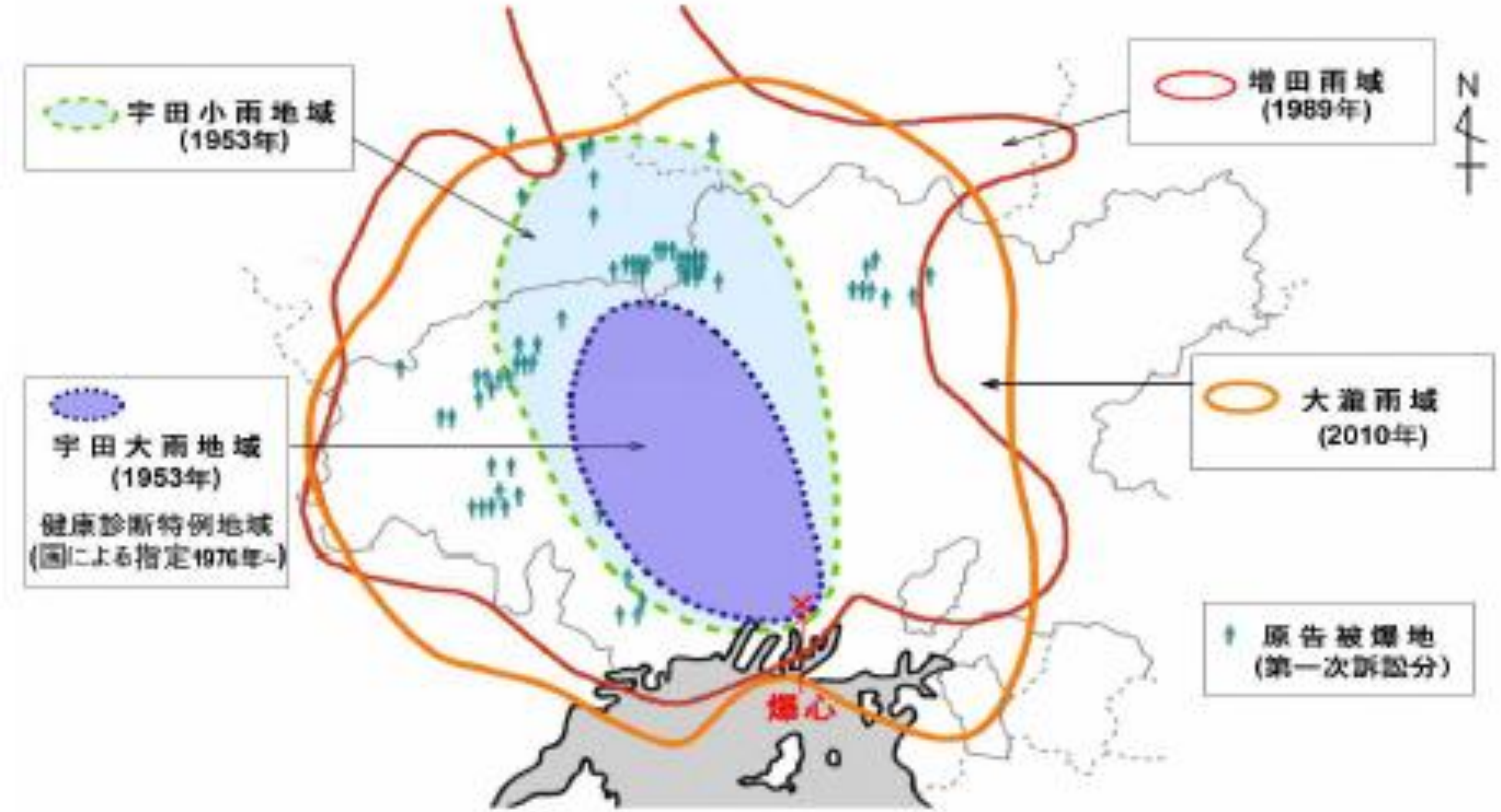
「黒い雨」降雨地域図・原告被爆地（「黒い雨」訴訟を支援する会作成の図をもとに作図）



増田氏が「第一種健康診断特例区域等の検証に関する検討会」に2021年7月2日付けで提出した資料より

「広島地裁の内部被ばくを受けた可能性のある住民に原爆手帳を交付する合理的理由を検討すべき」で、「調査対象地域としては、『雨』だけでなく、放射性チリが降ったと考えられる地域はもちろん、『歯ぐきからの出血』『嘔吐』、『下痢』など放射線に起因する疾病の発生した地域を含むすべての地域を対象にすべき」と提言した。その雨について、大瀧雨域（市・県の拡大要望地域：展示者付加）の外でも雨が降っており、「内部被ばくの可能性がある」と指摘。